

♪平成24年11月～平成25年1月のできごと

ソーリダーの 毎日 ムウウ (ムオイムオイ)

平成25年 1月 第3号

あけましておめでとうございます。カンボジアも日本から遅れること2時間で年が明け、新しい1年がスタートしました。今年もよろしくお祈りします。



カンボジアのお正月の様子をお伝えできればいいのですが、カンボジアでは1月1日のお正月は、さほど大きな行事ではなく、盛り上がりもありません。その代わりに、4月には「クメール正月」と呼ばれる、カンボジアにとって一番大きなお正月があるそうです。4月がお正月なんて、日本人からするとなんだか不思議な感じがしますね。どんな行事なのでしょう？お正月の様子は次号で紹介するとして、今回はカンボジアの情操教育の様子や現在の私の活動の様子をお伝えします。



カンボジアの情操教育



体育

日本でも子どもたちが大好きな体育。カンボジアでは、2006年に教科として制定されました。日本の支援によって、体育の指導書が作られましたが、道具がない、場所がない、指導できる教員がないなどの理由から、まだ体育の授業を実施していない小学校も多くあるのが現状です。現在、指導者の育成や体育授業の普及が進められています。

ともに汗をかく楽しさ♪

子どもの頃に体育の授業を受けていない学生ばかりなので、運動の面白さや、友達と一緒に夢中になって活動することの楽しさを感じさせることを大切にしています。日本のようにたくさんの道具もないし、場所だって状態は良くないですが、この環境を生かした楽しみ方があるはず！また、ルールや時間を守る、最後まで一生懸命行う、使ったものを片づけるなど基本的な指導も欠かせません。教員になっていく学生たちが、体育を好きになり、楽しんで教えてくれるようになるといいなと思っています。



音楽

音楽は教科としては存在しておらず、現在は社会科の一部として少しだけ取り扱われています。よって、日本の小学校の音楽とは目的が異なっており、カンボジアの伝統的な音楽や踊りに親しんで活動することに重きが置かれています。学校によって扱いに差があるので、ほとんど実施していない小学校もあります。

響きあうメロディー♪

日本から送ってもらった鍵盤ハーモニカやリコーダーを活用し、音楽に親しみ、演奏したり歌ったりする楽しさを味わえる授業を心がけています。初めて触れる楽器に学生たちは夢中です。カンボジアの音楽はリズムや節が独特なのでリズム打ちなど活動の工夫も求められます。また、楽譜の読み方やドレミも初めて習うので、楽しみながら理解できるように考えて実施しています。



図工

音楽と同じように、社会の一部として扱われているため、図工も日本の小学校と目的が異なります。お手本と同じように描くことが良いとされる文化があり、日本の図工のように自由な発想で表現することがあまりありません。材料などの関係もあり、工作（立体物の作成）もほとんど行われていません。



自由に表現する面白さ♪

カンボジアの文化を大切にしつつ、楽しく取り組める図工の活動を少しずつ紹介しています。まずは、色を選んだり、大きさを選んだりする中で、少しずつ自由な発想を引き出すようにしています。材料も十分にはないので、あるものをうまく活用できるように考えて行っています。折り紙は私の学校でも人気なんですよ。

一緒にかんぼっています！

こういった授業をいつも私1人でやっているわけではありません。カウンターパートと呼ばれる、現地の先生と一緒に実施しています。私が帰国してからも継続していくよう、小さなことでもカウンターパートの2人と相談し、一緒に考え、2人に理解してもらいながら進めています。実はこの2人、姉弟なのです。お姉さんが音楽と図工の先生、弟さんが体育の先生。私の頼れるカウンターパート2人です！いつもありがとう。

